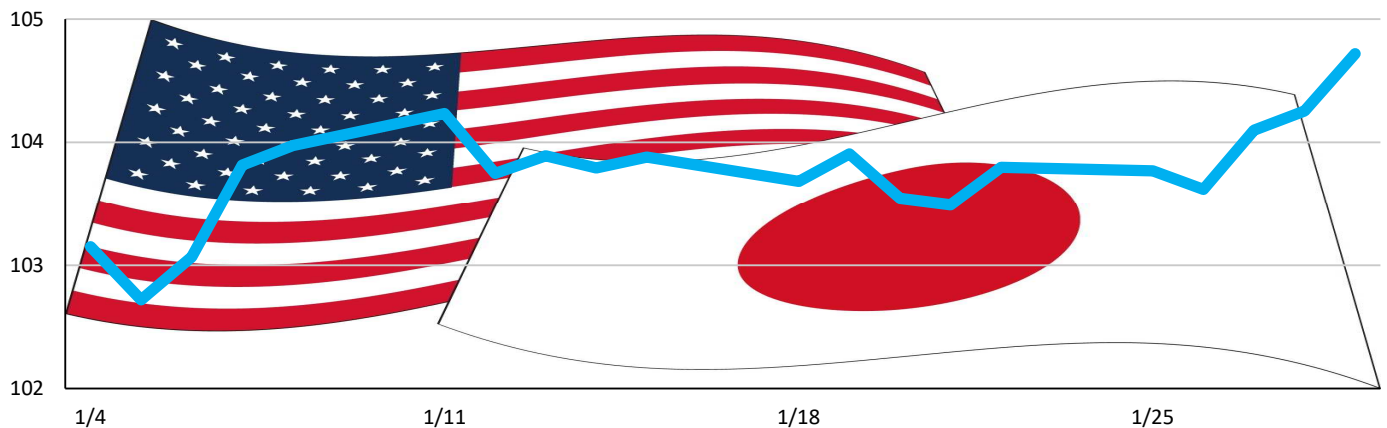


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 1月のドル円相場は102円半ば～104円後半で推移。米大統領選挙結果に不満を抱く一部の支持者が米議会に侵入し、一時混乱に陥ったがマーケットへの影響は限定的。バイデン新大統領のコロナ救済パッケージが2兆ドル規模になる見込みと報じられ、ドル円は104円台を回復する場面もあったものの、月中にかけてトランプ米大統領の弾劾裁判を巡る警戒感やさえない米経済指標発表、パウエルFRB議長のハト派的な発言などがあり、103円台を中心とした動きが続いていった。月末には欧州当局者などのユーロ高をけん制する発言をきっかけに欧州株安からユーロ売りドル買いの流れとなり、ドル円は104円台後半まで急騰した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開:** これまで株式市場やビットコイン、ユーロやポンドなど一部の通貨などが活況を呈していたが、その動きにやや陰りが出てきたことで、これまで蚊帳の外だったドル円にも動きが出始めてきた。新型コロナの変異株拡大、欧州各国のロックダウン長期化懸念など、ファンダメンタルズ的に大きな変化が起きてないものの、ドル円が一時105円台を回復したことで、一つ上の段階に進んだとも言えるだろう。次の上昇に備えてエネルギーを蓄える動きを想定しておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
2 / 17 (水)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
2 / 25 (木)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
2 / 26 (金)	22 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
3 / 5 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
3 / 8 (月)	8 : 50	J P	日GDP改定値	☆☆☆☆
3 / 10 (水)	22 : 30	US	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆
3 / 11 (木)	21 : 45	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。